



メールマガジンの活用状況／ラッピング公用車によるPR活動

吉本ゆうすけ議員(フォーラム小平)

小平市メールマガジンの活用状況について

質問 ①こだいらNEWSの緊急配信メールについて、28年の配信時の反響は。

②メールマガジン以外の情報発信についての認識は。

市長 ①犯罪発生情報等を速やかに知り防犯対策に役立つなど好意的な感想をもらっている。

②市政情報をわかりやすく、確実、迅速に市民に伝えることは重要であり、効果的な情報発信等、状況等により工夫が必要と認識している。30年度のホームページリニューアルでは、SNSを拡充し新たなニーズなど

に対応できるよう検討している。ラッピング公用車を活用した市のPR活動について

質問 ①市がこれまでに行ってきたラッピングの種類と目的は。

②市のPRのためラッピング公用車を活用すべきだが見解は。

市長 ①ぶるべーを車体にデザインした電車を、市の認知度を高めることを目的に運行した。また、コミュニティバスに

こだ健体操等のラッピングを、事業のPRを目的に実施した。②ふれあい下水道館のPRのため、1台にラッピングを行うなどしている。市の魅力発信の方法の1つとして研究していく。



子育て世代の支援策の充実を／小川駅西口駅再開発の加速化を

山岸真知子議員(市議会公明党)

子育て世代に寄り添った支援策の充実を

質問 ①病児・病後児保育事業について送迎対応の実施と対象年齢の拡充を検討できないか。

②子どもの貧困の解決策として文京区が始めたことも宅食プロジェクトの実施を検討しては。

市長 ①子どもの視点を考慮すると、積極的な拡充は慎重であるべきと考えており、現状では考えていない。

②子ども・若者計画案でも子ども食堂のあり方の検討を重点施策に掲げており、30年度以降検討するとともに食を通じた支援策について広く研究していく。

再び小川駅西口地区再開発をより加速化させるために

質問 ①今後、本事業を加速化させるために市ができることは。

②建設予定の駅前ビルの床を購入し公共施設として活用することについて庁内の検討状況は。

市長 ①事業の推進には権利者の合意形成を図ることが重要である。準備組合が行う権利者への説明や関係機関との協議など、丁寧かつ円滑に実践できるようにできる限りの支援を行っていく。

②公共施設マネジメント推進本部の部会で公共床の活用を検討を進めており、取得は立地条件等を考慮し今後判断していく。



小平の屋号を無形遺産に／オリンピック・パラリンピック観戦

宮寺賢一議員(政和会)

小平の農・商家につけられた屋号を無形遺産にできないか

質問 ①昔の小平の農民等の生活について、子どもたちにはどのような学習機会があるのか。

②小平の農・商家の屋号を小平の昔をたどる無形遺産として後世に伝える考えはあるか。

教育長 ①小学校3年生の社会科副読本わたしたちの小平で、江戸時代のころの古い道具や昔の暮らしを学ぶ機会等がある。

市長 ②屋号は、その家の盛衰など個人情報にかかわる側面もあることから取り扱いは慎重であるべきだが、市の屋号の特徴等を記録し、後世に伝えていく

ことは必要であると考えている。児童・生徒のオリンピック・パラリンピック観戦等について

質問 ①家計の余裕の有無によらず、一律に観戦させるといいう税金の使い方に問題はないか。

②東京オリンピック・パラリンピック子ども夢・未来基金の用途を見直す考えはないか。

市長 ①東京2020大会は子どもにとってまたとない重要な機会であり、人生の糧となる事業の財源となることから適切と考えている。

②現時点では競技観戦を軸に検討しているが、子どもたちが将来につながる夢や希望が持てるような施策を視野に検討する。



補助金使途不明金問題を明らかに／地域コミュニティ活性化

伊藤 央議員(ムサン)

小平市ごみ減量推進実行委員会の使途不明金問題について

質問 ①使途不明金が発生した経緯は。

②不正支出にかかわった委員を刑事告発するのか。

③破壊活動防止法に基づく調査対象団体傘下の朝鮮大学校への間接的公金支出は北朝鮮の核開発への資金提供にならないか。

市長 ①環境フェスティバルのポスター製作を朝鮮大学校元職員の副実行委員長に依頼したが、領収書記載の会社は実在せず領収書は自作したもの判明した。②副実行委員長が弁済したため、必要性含め慎重に判断する。

③その認識はない。地域コミュニティの活性化について

質問 ①地域コミュニティにおける祭りの意義は。

②児童・生徒が地域の祭りに参加することの教育的効果は。

③地域行事の日程調整を地域連絡会等利用して行うべきでは。

市長 ①総じて、人と人をつなげ、地域の活性化が期待できる。教育長 ②地域のひととの触れ合いを通して子ども健全育成を図られる等の効果が期待できる。市長 ③地域連絡会では、各団体のイベント一覧表を作成するなど情報交換を図っていく。



ぶるべーを車体にデザインした電車(西武鉄道)



こだ健体操のラッピングを施したコミュニティバス



保育ママの新制度移行

小林洋子議員(フォーラム小平)

認定家庭福祉員の

新制度移行について

質問 ①現在、手続としてはどのような段階か。

②連携施設についてはどうか。

③今後申し込み方法はどうか。

④保育料に差が生じるのか。

⑤給食については、アレルギー対応も含めどのように行っていくのか。

⑥協議が進んでいない保育ママについて移行をどのように考えているか。また、市の方針は。市長 ①設備及び運営の基準に沿う施設について、協議を重ね、順調に準備を進めている。



AIを活用した市民サービス業務

永田政弘議員(政和会)

驚異的な進化を遂げるAIを活用した市民サービス業務

質問 ①AIを活用した行政サービス業務の可能性をどう考えるか。

②実施する場合は導入する基準をどこに設定するか。

③近未来の人口減による働き手不足や、人件費削減への大きな政策となると考えるが見解は。

④民間事業者が行った調査において、6割以上の人が市役所業務は将来AIに置きかわると答えた調査結果をどう受けとめるか。

市長 ①これまで実現できなかった業務やサービスの実施に加

え、業務の効率化につながる可能性があると考えている。②どのような業務での活用が市民サービスの利便性向上や効率的な行政サービスの提供につながるかを考えながら、導入する基準の整理が必要と考える。

③業務効率化や人件費の圧縮が実現でき、将来の人口減による働き手不足等の課題解決に資する可能性があると考えている。

④今後、定型的な業務等以外の分野でも、AIを取り入れた行政業務への結びつけが可能と考えられる。多様な市の業務における市民サービスの利便性の向上や、業務の効率化につながる活用事例を研究していく。



家庭ごみの戸別収集(仮称)小平文学賞の創設

磯山 亮議員(政和会)

家庭ごみの戸別収集について

質問 ①戸別収集に移行した際の程度コストが増加するか。

②ごみを出す場所が変更される世帯の割合は全体の何%か。

③収集頻度の見直しを検討しているが、その影響への認識は。

市長 ①現在の収集運搬経費から、おおよね1割から3割の増加になると見込んでいる。

②家庭ごみ有料化及び戸別収集への移行実施計画案で戸別収集の移行対象を戸建て住宅とした。27年度の国勢調査で、戸建て住宅の世帯割合は44%なので、同程度の割合と考えている。

③収集にかかる経費の増加の抑制や作業効率の向上、ごみの減量等につながると考えている。

(仮称)小平文学賞の創設について

質問 仮称小平文学賞を創設してはどうかと考えるが、見解は。

市長 地方自治体等で実施されている文学賞には、地域の文芸活動振興のため、地域内限定の作品を募集する賞など各団体でさまざまな主旨があると認識している。賞の創設に当たっては、市民に親しみを持ってもらえる市独自の方針や基本テーマの設定等の課題が考えられることから、現在のところ予定はない。